

ハートランド平尾台株式会社

I 法人の概要（令和5年4月1日現在）

- 所在地 北九州市小倉南区平尾台一丁目1番1号
- 設立年月日 平成8年4月1日
- 代表者 代表取締役 加茂野 秀一
- 資本金 91,200千円
- その他資本金に準ずる額 73,838千円
- 北九州市の出資金 39,906千円（出資の割合 24.18%）
- 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	9人	0人	1人	8人
常 勤	1人	0人	1人	0人
非常勤	8人	0人	0人	8人
職 員	7人	0人	1人	6人

II 令和4年度事業実績

1 事業の経過及び成果

(1) 経過

令和4年度も、多くの観光施設がコロナ禍の影響を受ける中、新型コロナ感染拡大に伴う休園・休館にまで至ることはなかった。平尾台自然の郷（ソラランド平尾台）では屋外施設の強みを活かして、西日本最大級のドッグランとRVパークを併設した「平尾台テラス」を9月にオープンした。また、開園以来懸案であった冒険広場の整備に着手し、カルスト台地の地形を活かした新感覚のフィールドアスレチック施設「平尾台アスレ」の整備を行った。この様に、新たな集客施設の整備に投資を行ってきたことで、一日中遊べる公園としての魅力が高まり、集客数、売上高は、増加傾向に転じた令和3年度よりも更に増加している。一方で、原油価格の高騰による諸物価の上昇により、電気料金をはじめとした公共料金や燃料費、商品の仕入費などの経費が増加しているほか、開園以来20年を経過した設備や施設の修繕にかかる経費が増加している。このような状況の中で、運営経費の節減にも取り組んできたことにより、令和4年度は、黒字決算となった。

(2) 成果

ア 「平尾台自然の郷」の入園者数 211,652人（令和3年度 147,970人）

入園者数は、前年度対比で、63,682人増、43.0%増となった。

イ 「福岡県平尾台自然観察センター」の入館者数 22,212人（令和3年度 15,785人）

入園者数は、前年度対比で、6,427人増、40.7%増となった。

ウ 売上・利益

売上高は、216,657千円、経常利益は、1,448千円となった。法人税等控除後の当期純利益は、1,546千円（令和3年度：5,127千円）となった。

2 主な事業実施状況

(1)「平尾台自然の郷」

ア PR活動

- ・春、夏休み、秋の行楽シーズンに焦点を当てた営業・広報活動を実施した。
- ・イベントバンク（Web）を使用した幅広いPR活動を実施した。
- ・SNS（Instagram、Facebook、Twitter）の掲載やトリップアドバイザー他、旅行観光情報サイトの活用を行った。
- ・各メディアへ積極的なプレスリリースを実施した。

イ 各種事業の実施（新規分）

- ・令和4年4月、幼児等向けにバッテリーカーを導入、また、家族で楽しめるパークゴルフ場を整備した。
- ・令和4年7月、カルスト台地を一望できる野外活動広場に「ハイジブランコ」を設置した。
- ・令和4年9月、キャンピングカー愛好者や愛犬家のニーズに応え、RVパーク、ドッグラン及びカフェテラスを備えた平尾台テラスを整備した。
- ・西日本の観光関連事業者が連携した西日本旅行ネットワークの会を令和4年7月に設立し、フェリー用観光MAPを制作するなど、広域からの誘客を図った。

ウ 各種事業の実施（継続分）

- ・天体観測イベントとして、ペルセウス座流星群鑑賞会（8月）、平尾台お月見会（9月）などを実施した。
- ・学校との連携イベントとして、小学校 SDGs 環境アクティブラーニング（5月～10月）、小倉南区中学校野球部対抗駅伝大会（1月）を開催した。
- ・地域との協働イベントとして、平尾台観光祭（7月）、新米まつり（9月）、平尾台野焼き見学会（2月）を実施した。
- ・平尾台の特色を活かしたイベントとして、ガイドツアーを実施した。
- ・スポーツイベントとして、トレイルランニングレース（4月）、クロスカントリー（3月）を実施した。
- ・その他のイベントとして、ブルーベリー摘み取り（7・8月）などを実施した。

(2)「福岡県平尾台自然観察センター」

- ・平尾台散策道整備、遊歩道草刈、外来植物駆除などにより、平尾台の景観維持、登山・散策者の安全対策に取り組んだ。
- ・野外イベントとして、登山（大平山、貫山、水晶山、など）、観察会（野草、きのこ、コウモリ）、ケイビング（洞窟探検）、クリーン大作戦などを実施した。
- ・特別展示として、写真展（野草、きのこ）やカルスト文化祭などを実施した。

Ⅲ 令和4年度決算

1 貸借対照表（総括表）

令和5年3月31日現在（単位：円）

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	185,720,970	流 動 負 債	10,573,237
現 金 預 金	148,002,305	買 掛 金	632,196
売 掛 金	14,526,592	未 払 金	1,238,484
商 品	2,314,319	未 払 費 用	5,050,471
食 材 品	204,949	預 り 金	207,886
貯 蔵 品	138,578	未 払 法 人 税 等	304,000
焼 酎	2,134,604	未 払 消 費 税	3,140,200
前 払 費 用	14,493,261	引 当 金	2,864,666
立 替 金	399,662	賞 与 引 当 金	2,864,666
仮 払 金	306,700	負債の部合計	13,437,903
保 証 金	3,200,000	純資産の部	
固 定 資 産	86,787,221	科 目	金 額
（有形固定資産）	（86,496,021）	資 本 金	91,200,000
建 物	7,007,363	資 本 剰 余 金	73,837,619
建 物 付 属 設 備	4,771,405	資本準備金	22,800,000
構 築 物	8,051,135	その他資本剰余金	51,037,619
車 両 運 搬 具	1,521,614	利 益 剰 余 金	94,032,669
工 具 器 具 備 品	10,825,646	繰越利益剰余金	94,032,669
一 括 償 却 資 産	954,554	株 主 資 本 合 計	259,070,288
土 地	53,364,304	純資産の部合計	259,070,288
（無形固定資産）	（291,200）		
電 話 加 入 権	291,200		
資 産 合 計	272,508,191	負債及び純資産合計	272,508,191

2 損益計算書（総括表）

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日（単位：円）

科 目		金 額	
経 常 損 益 の 部	(営業損益の部)		
	営業収益		216,656,882
	売上高	216,656,882	
	営業費用		216,241,542
	売上原価	11,741,951	
	販売費及び一般管理費	204,499,591	
	営業利益		415,340
	(営業外損益の部)		
	営業外収益		1,033,417
	雑収入	1,033,417	
営業外費用		438	
雑損失	438		
営業外利益		1,032,979	
経常利益		1,448,319	
益 の 部 特 別 損	特別利益		706,098
	固定資産売却益	706,098	
	特別損失		0
税引前当期純利益			2,154,417
法人税、住民税及び事業税			608,300
当期純利益			1,546,117

IV 令和5年度事業計画

1 「平尾台自然の郷」

(1)新たな取組み

- ・カルスト台地ならではの体験ができるフィールドアスレチック「平尾台アスレ」の拡充により来園者の満足度向上、集客・収入増に繋げる。
- ・BBQ広場にオートサイトを増設して、人気のRVパークの利用拡大を図る。
- ・来園者のニーズに応え、大自然の中でバーベキューを気軽に楽しめる「手ぶらでBBQ」サービスを提供する。
- ・令和4年度末に登録した旅行業を開始し、バスツアーを企画するなどして入園者増を図る。
- ・開園20周年を記念した冠事業（イベント）を実施し、広くPRを行う。

(2)PR活動

SNSの活用やYouTube（ライブカメラ）によりタイムリーな広報に努める。

(3)夜間開園

夏休み期間中の土曜日は20時まで開園時間を延長し、夕涼みイベントを開催する。

(4)自主事業の収益改善

子どもに人気のバッテリーカーのほか、大人も利用できるバギーカーを増車し、家族で楽しめるアイテムの充実によりサービス向上を図る。

(5)ボランティアの拡充

新規募集と研修により平尾台で活動する各種ボランティアの拡充を図る。

(6)各種イベントの開催

平尾台の自然を活かした天体観測やスポーツ大会、地域と協働したお祭りや陶芸等の体験教室の充実を図る。

2 「福岡県平尾台自然観察センター」

(1)施設のリニューアル

福岡県が施設のリニューアル計画を進めており、新しい映像システムを使った展示など魅力的な施設づくりに向け、施設運営の立場から提案を行う。

(2)ボランティアの育成

山岳会等の団体等を取り込み、新規ボランティアの確保に努める。特に、ガイドの育成については、リニューアルオープンを見据えて強化する。

(3)自然保護意識の醸成

年間を通して自然と触れ合うイベント等を行い、カルスト台地特有の自然とその希少価値を意識することにより、自然保護意識を醸成する。

V 令和5年度予算

1 予定損益計算書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日 (単位：千円)

勘定科目	令和5年度予算
(営業損益の部)	
売上高	240,821
売上原価	216,128
一般管理費	24,243
営業利益	450
(営業外損益の部)	
営業外収益	336
受取利息	0
その他営業外利益	336
営業外費用	0
営業外利益	336
税引前当期利益	786
法人税・住民税及び事業税	500
当期利益	286

VI 役員名簿

令和5年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役	加茂野秀一	社長
取締役	池永紳也	北九州市 産業経済局長
〃	石川達郎	北九州市 建設局長
〃	三善 顕	UBE 三菱セメント(株) 九州工場事務部長
〃	松本 淳	(株)ユアーズ 代表取締役社長
〃	木村 徹哉	住友大阪セメント(株) 業務グループリーダー
〃	壹岐尾 恵美	株式会社かいこ 代表取締役社長
監査役	吉野 浩実	(株)西日本シティ銀行常務執行役員 北九州総本部長
〃	糸永 卓見	(株)太平設計 代表取締役